



新年明けまして
おめでとうございます！
今年もよろしくお祈りします



「いじめ」

大津でのいじめ事件報道の後、あったかほ一むでの夏休みの様子を聞いていて私の少年時代を思い出した。

50年前だっていじめはあった。130人ほどの学年には、病弱の子、貧乏でなかなか学校に来れない子、軽い知恵遅れの子などが数人居た。学年の中で体も気持ち強い子どもたちは、ボスたちの命令で、彼らに対してからかいを言ったり意地悪をしたりした。

私もひどい栄養失調と回虫のせいで、わずか1km足らずの小学校まで行くのに何回も休憩をしないと行けないほどの虚弱児であったので、時にからかいの対象とされた。

長い休みや昼休み時間になると、その弱い者組は誘い合って校庭に出た。強い者組が校庭の真ん中で馬蹴りなどの遊びをしているの横目に、ひっそりと弱弱しく相撲を取ったり、つぶれそうな馬乗りなどをして遊んだ。

またその中間に居た子どもたち、つまりいじめに加担しない子どもたちの中の数人も、その弱い者組をさりげなく支えた。

するとボスたちも、個々へのいじめは続けながらも、弱い者組とそれを支える組にまで攻撃することはなかった。

今みたいに、学年、クラス一体となつての攻撃や無視、無関心や無関与という陰湿さはなかった。個人が完全に孤立し、自殺に追い込まれるような深刻さはなかった。

あったかほ一む:いしべ宿は、主に障害のある子どもたちの「日中一時支援」の場であるが、障害のない子どもたちも通ってくる。夏休みの長い一日、障害のない子どもたちが障害のある子どもたちに対して、時には憎まれ口をたたいたり意地悪をすることもあつたが、殆どの時間は一緒にごはんやおやつを食べたり、ボール遊びをしたり、ゲームをしたりしながら過ごす。

スタッフも安全上の配慮はするが、子どもたちに先回りして「一緒に遊ばせる」ことはしない。子ども同士の自然な付き合いの中に、「認める」ことや「助ける」ことや「支える」ことを見ることが出来る。

学校や地域でカウンセラーを置いて策を講じるのも意味はあるが、戦後の私たちの体験やあったかほ一むの中味がもう少し活かされないかと思う。

2012年を振り返る

4月 児童館でカレー作り



← 水族館のペンギン
↓ キウめん流し



7月・8月 児童館でカレー作り
京都水族館
キウめん流し
すいか割り
映画鑑賞会



← 近くの公園にて
↓ すいか割り



9月 夏祭り

12月 映画鑑賞会
お餅つき

豆知識コーナー お年玉の由来って?

今では、「お年玉」と言えば、お正月に家族や親戚からもらう現金・・・お金を意味しますが、もともと「お年玉」というのは、お正月にやって来る神様＝年神（としがみ）様が授けてくれる霊的な力の事を「お年玉」と呼んでいたんです。

霊的な力と言っても、今ハヤリのスピリチュアルなおん力とか、瞬間移動できるこんな力の事ではなく、言ってみれば、活気、あるいは元気・・・生きる気力を与えてくれるという事です。

今でも、「大晦日に年神様が年玉を配って回る」という伝説の残っている地方（島根県など）もあり、本来は、家族から貰う物でも現金でも無かった事がわかります。

霊的な目に見えない物だった年玉が、やがて、いつのほどからか、「お餅」や「お米」といった具体的な物品に変化していきます。

これは、日本が農耕民族であったが故に、お米や、そのお米から作られるお餅が、神様からの贈り物であり、パワーの源であり、心＝

魂（たましい）でもあるという風に考えら

れ、そのお米やお餅を紙に包んで、年神様の代理である家長や年長者が家族に配る・

・・・という風習に変わっていったようです。

http://indoov-mama.cocolog-nifty.com/tuvedure/2007/12/post_1947.html



あったか 実施サービス

<子育て支援>

親子サロン・幼児一時預かり・学童保育

<シルバー生きがい支援>

シルバーボランティア・高齢者による子育て支援

<余暇かつどう支援>

あったか倶楽部

<その他のあったかの活動>

趣味のサークル・ボランティアグループの会議等
地域の方の色々な活動にお使い頂けます

ご意見・ご感想お待ちしております
あったかほーむ メールアドレス
npowai@ex.biwa.ne.jp まで

実は私、本厄で大きな風邪を2・3回引いただけなのですが、少し気持ち的に暗くなってしまうことがありました。

$$4 \times 9 = 36$$

$$8 \times 8 = 64$$

$$36 + 64 = 100$$

これは私の好きな名言です

しくしく（4×9）するのは人生の中で36%

ははは（8×8）と笑うのは人生の中で64%

足して100%で人生はできているキウです

楽しいことから辛いこと・悲しいことを引いても

楽しいことの方が多くなります、素敵ですよ

どんなときでもこの数字を思い出して

前向きに今年も一年過ごしたいと思います。

大野 葉瑠華

